

発見! 白井の仕事人 86

～本物の良さを伝えたい～

たちばな園



今回は、清水口のお茶とピーナッツの専門店「たちばな園」を紹介します。

創業は昭和30年、市川で牧野きぬさん（現店主の祖母）が弟にお茶屋の経営を頼まれたことがきっかけでした。

その後、船橋市高根公団に移り、昭和63年に白井に出店しました。開店当時は多くの方が押し寄せて、当時あった支店から急ぎよ、人を呼ぶほどでした。近所に買い物ができるお店がまだ少なかったため、大変喜ばれたそうです。

店には通路を囲むようにずらりと商品が置いてあり、現店主の牧野喜英よしひでさんが商品について「お茶は静岡県産で、浅蒸しという特殊な加工により、色は濃く、味はまろやかに仕上げています。焼きのりは品質の良いものを仕入れており、以前は店内で焼きの作業もしていました。取り扱っている落花生は八街産で、商工会に入っている信用できるところから仕入れています。国産ゆえの価格の高さはありますが、味が濃く、購入した人からは「こんなに美味しい落花生は食べたことがない」と喜ばれます。また旬の時期にはお歳暮として利用される人も多いです」と丁寧に説明をしてくれました。

高根公団に店舗があった時からの利用者やお歳暮で知ったのか県外からの注文もあり、リピーターも多いそうです。取材中も、にこやかに世間話をしながら焼きのりを購入している人がいました。

旬の商品を取り扱っているため、時期により集客のばらつきがあるそうですが、現在は季節ごとの目玉商品開発にも力を入れているそうです。

牧野さんは「店の入り口に黒板を出して、季節の目玉商品をPRしています。食べ物以外では、「消しゴムハンコの布巾」なども置いています。昨年の夏にはタピオカグリーンティーを販売し、専門店として味の良いお茶を使用していることもあり、好評でした。他にも抹茶のシフォンケーキや栗のパウンドケーキなどを販売しました。引き続き、お菓子作りにも力を入れていきたいです」と話してくれました。

最後に今後の抱負などについて聞くと「専門店として品質の良いものをそろえているので、そのことをもっと多くの人に知ってもらいたい。ペットボトルのお茶とはまた違う、本物の良さを伝えていきたい」と話してくれました。

☎産業振興課 ☎401-4641

